

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
科学と技術Ⅱ (設計と倫理)		前 期	2 単位	坂 本 勇
【講義概要・学習目標】 今日の科学や技術に関する知覚的負性の 振幅を離れて、つぎの時代のハロタイプを 構築する概念装置について考えてゆく		【講義計画】 1. 技術の主張 2. デザインの思想 3. 関係性と極め 4. 設計の評価		
【成績評価の方法】 レポート		【参考文献】 尚書等に指示あり		
【教科書】 なし				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
科学と技術Ⅲ 生命を操る技術の光と陰	0 1 0 2	前 期 前 期	2 単位 2 単位	鈴 木 善 次
【講義概要・学習目標】 今日、科学技術の発達が目ざましいものがある。それによつて人々は便利で快適な生活を手にすることができた。一方で環境変化、人間疎外などさまざまな問題も生じさせた。本講義では“生命を操る技術”を具体例にいて、科学技術のメリット(光)とデメリット(陰)を検討し学生諸君それぞれに“人間にとって科学技術はどうあるべきか”を考えていただく。 文系系の学生は理科学的事柄と苦手にする傾向があるが、21世紀はさらに科学技術が人々の生活の中に深くみかわる時代であり一市民としてこれらに対する的確な知識をもち、それらに対して意思決定がなされる力を身につけてほしい。		【講義計画】 1. 科学と技術との関連 2. 生命を操る技術の現状と課題 ① 分子レベルでの操作 DNA(遺伝子)組み換え技術 ② 細胞レベルでの操作 人工受精技術、クローン技術など ③ 臓器移植技術 3. 人間にとっての科学技術のあり方		
【成績評価の方法】 授業時に随時提出してもらうレポート、期末テストの結果など総合的に評価する		【参考文献】 講義の際に随時紹介する。		
【教科書】 なし				